

所属名	事務事業名	ページ番号
文化振興課	自主文化事業費補助金	2
文化振興課	文化会館管理運営事業	3
文化振興課	文化会館施設改修事業	4
文化振興課	SAGAサンライズパーク関連文化会館整備事業	5
文化振興課	東与賀文化ホール管理運営事業	6
文化振興課	東与賀文化ホール改修事業	7
文化振興課	山口亮一旧宅維持管理事業	8
文化振興課	文化振興基本計画策定経費	9
文化振興課	かわそえ佐賀田園の郷ギャラリー管理運営事業	10
文化振興課	文化連盟補助事業	11
文化振興課	市民芸術祭開催事業	12
文化振興課	文化芸術活動支援事業	13
文化振興課	文化財保存管理事業	14
文化振興課	指定文化財等保存事業	15
文化振興課	葉隠発祥の地維持管理事業	16
文化振興課	市内遺跡公開活用事業	17
文化振興課	与賀神社楼門等保存修理事業	18
文化振興課	肥前国庁跡保存管理事業	19
文化振興課	東名遺跡保存管理事業	20
文化振興課	東名遺跡史跡整備事業	21
文化振興課	地域文化保存・継承支援事業	22
文化振興課	市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）	23
文化振興課	出土遺物保存処理事業	24
文化振興課	東名遺跡（国庫）分経費	25
文化振興課	世界遺産関連分経費（国庫補助事業）	26
文化振興課	鍋島本村地区発掘調査事業	27
文化振興課	一本黒木遺跡発掘調査事業	28
文化振興課	久保泉工業団地建設に伴う発掘調査事業	29
文化振興課	世界遺産関連分経費	30
文化振興課	精煉方跡発掘調査経費	31
文化振興課	七ヶ瀬遺跡発掘調査	32
文化振興課	緊急発掘調査分経費	33

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	自主文化事業費補助金	事業期間	平成 2 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民に文化芸術の鑑賞機会を提供すること、地域の文化芸術の振興を図ることを目的として、指定管理者である公益財団法人佐賀市文化振興財団が実施する「自主文化事業」に対し補助を行う。				
事業の対象者	市民				
令和2年度主な活動実績	公益財団法人佐賀市文化振興財団が行う主催事業、ワークショップ、アウトリーチなどの自主文化事業に対する補助金の交付及び広報。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	10,000				
うち佐賀市の負担額	10,000				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
自主文化事業の入場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,280	15,000	15,000	15,000	15,000		

成果指標②						単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27.1	54	54	54	54		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
自主文化事業は学校や公民館、福祉施設などでのアウトリーチ・文化体験をするワークショップも実施できているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で入場者が減少したり、企画が中止したりした。新型コロナウイルス感染症への対策をとりつつ、公立文化施設だからこそ取り組むべき事業に継続的に挑戦していけるよう進めていきたい。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	文化会館管理運営事業	事業期間	平成 2 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	文化情報の発信拠点として、市民の文化活動の発展に貢献し、また、各種コンベンションの利用による広域的な人、物、情報の交流を図ることを目的として、佐賀市文化会館の管理運営を公益財団法人佐賀市文化振興財団に委託する。				
事業の対象者	市民				
令和2年度主な活動実績	施設の貸出、使用料の徴収等の管理運営を実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	185,509				
うち佐賀市の負担額	155,632				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
文化会館入場者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
101,666	400,000	400,000	400,000	400,000	

成果指標②					単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
27.1	54	54	54	54	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
市としても文化振興財団の役割は文化振興事業における要であると考え、文化振興基本計画では取り組みにおける連携強化を掲げている。平成25年度から開催している市民芸術祭（市と一緒に文化振興財団が事務局を務めている）についても、財団が関わる事業が増えると見込まれる。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休館や公演の中止等があったが、第三者評価委員会の意見等を参考に、引き続き事業内容の見直しや効率化に取り組んでいきたい。

令和3年度 公共事業進捗報告シート

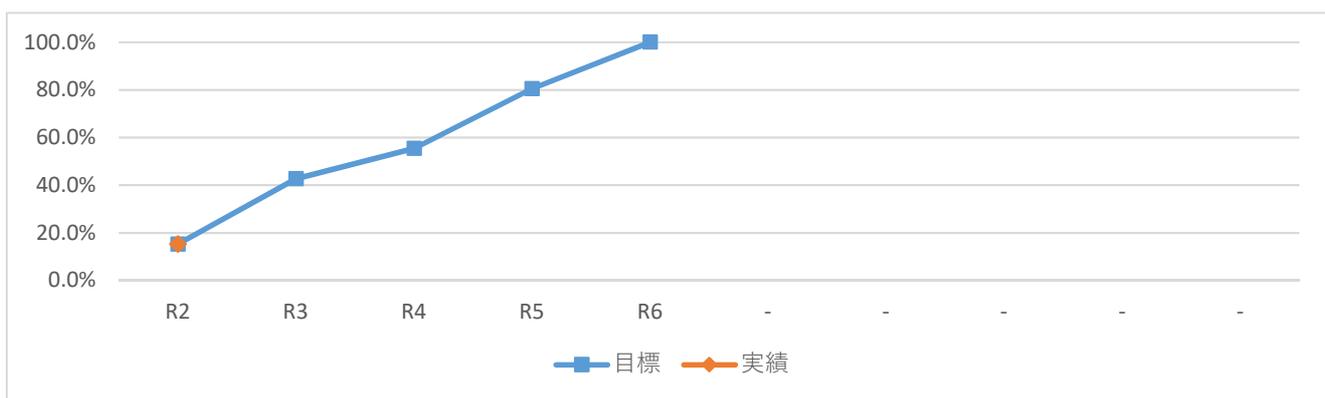
公共事業名	文化会館施設改修事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 公共事業の基本情報

整備概要	機能維持、改善のため年次計画に沿った改修工事を実施する。				
整備の目的	文化会館の建物、設備等について改修工事を実施することにより、施設利用者に安全で快適な利用環境を提供し、より多くの市民に利用してもらう。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R 2年度	年度	年度	年度	年度
工事請負費	242,485				
測量・監理等委託料	8,004				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	250,489				
うち佐賀市の負担	25,089				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					242,485
測量・監理等委託料					8,004
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					250,489
うち佐賀市の負担					25,089

2 事業の進捗率

目標 R2	目標 R3	目標 R4	目標 R5	目標 R6	目標	目標	目標	目標	目標
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
15.3%	42.8%	55.5%	80.5%	100.0%					
15.3%									



令和3年度 公共事業進捗報告シート

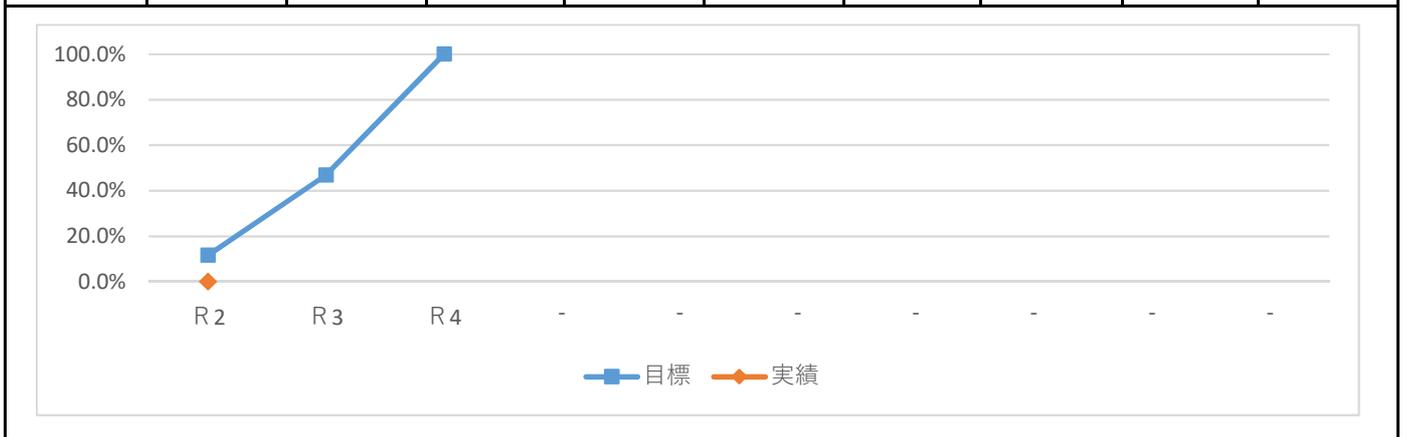
公共事業名	SAGAサンライズパーク関連文化会館整備事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 公共事業の基本情報

整備概要	佐賀県が行うSAGAサンライズパークの整備にあわせ、文化会館周辺施設の整備（ペDESTリアンデッキ新築、ロータリー・周回道路整備、東側・西側駐車場整備、西側広場整備）を行う。				
整備の目的	文化会館周辺施設を整備することにより、施設利用者に安全で快適な利用環境を提供し、より多くの市民に利用してもらう。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	年度	年度
工事請負費					
測量・監理等委託料					
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	23				
計	23				
うち佐賀市の負担	23				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					23
計					23
うち佐賀市の負担					23

2 事業の進捗率

目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標
R2	R3	R4								
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
11.6%	46.9%	100.0%								
0.0%										



令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東与賀文化ホール管理運営事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東与賀文化ホールを文化情報の発信拠点として、市民の文化活動の拠り所として、多様で自主的な文化活動を推進する場とすること、市民が気軽に利用でき親しまれる施設とすることを目的として、東与賀文化ホールの管理運営を公益財団法人佐賀市文化振興財団に委託する。				
事業の対象者	市民				
令和2年度主な活動実績	施設の貸出、使用料の徴収、文化振興事業の実施等、施設の管理運営を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	45,979				
うち佐賀市の負担額	45,978				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
施設利用者数					
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
23,346	36,000	41,000	46,000	51,000	

成果指標②					単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
27.1	54	54	54	54	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

令和2年度は新型コロナウイルス感染症による休館や公演の中止等があった。第三者評価委員会の意見等を参考にして、立地や施設面での制約もあるが、施設や地域の特性を生かした管理運営を行うことで引き続き利用されるように努めたい。

令和3年度 公共事業進捗報告シート

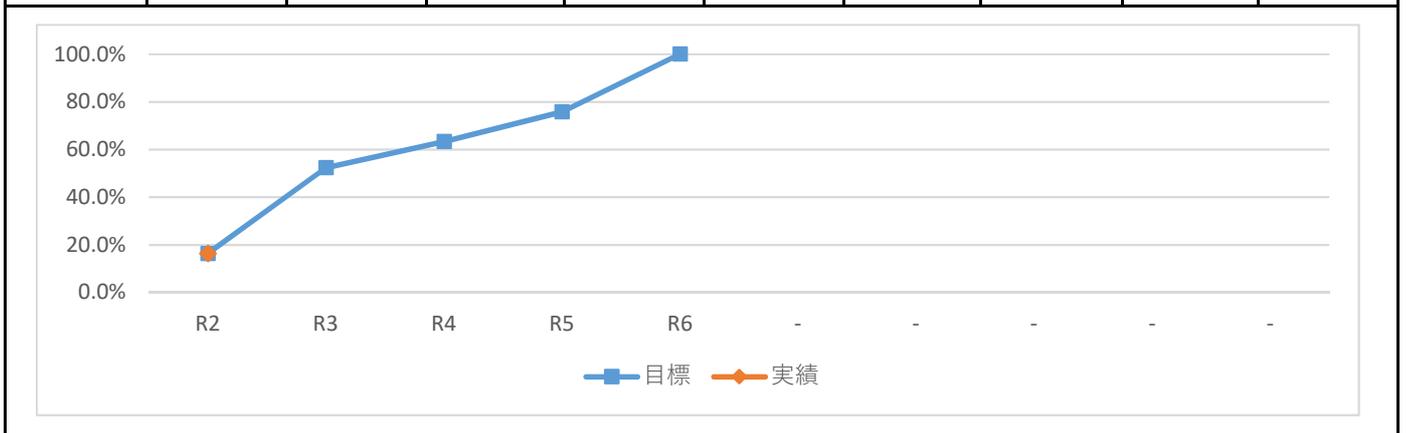
公共事業名	東与賀文化ホール改修事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 公共事業の基本情報

整備概要	機能維持、改善のため年次計画に沿った改修工事を実施する。				
整備の目的	東与賀文化ホールの建物、設備等について改修工事を実施することにより、施設利用者に安全で快適な利用環境を提供し、より多くの市民に利用してもらう。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	R2年度
工事請負費	35,693				
測量・監理等委託料	473				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	424				
計	36,590				
うち佐賀市の負担	36,590				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					35,693
測量・監理等委託料					473
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					424
計					36,590
うち佐賀市の負担					36,590

2 事業の進捗率

目標 R2	目標 R3	目標 R4	目標 R5	目標 R6	目標	目標	目標	目標	目標
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
16.4%	52.4%	63.4%	75.8%	100.0%					
16.4%									



令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	山口亮一旧宅維持管理事業	事業期間	平成 4 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	明治・大正・昭和期の佐賀を代表する洋画家、山口亮一が生活した江戸時代の建築物といわれる住居の維持管理を行い、市民の文化活動の場として活用する。N P Oまちづくり研究所に活用等業務を委託し、山口画伯の顕彰をはじめとする歴史・文化を題材としたイベントを開催する。※山口亮一旧宅 与賀町1368-1 月曜休館（開館時間 10時から16時まで）				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	「山口亮一旧宅ひなまつり」「青雲塾」「着付け教室」等のイベントを開催。 ひなまつりに合わせ講演会を開催。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,177				
うち佐賀市の負担額	4,693				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,971	3,800	3,800	3,800	3,800		

成果指標②						単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27.1	54	54	54	54		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

小規模な施設ではあるが、これまでの事業の積み重ねにより、地域の住民や芸術関係者とのネットワークを構築することができている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症による休館もあり、利用者が減少したが、今後も引き続き事業内容の充実を行い、更に来館者の増加に繋げることで、市民文化の振興を支えていきたい。

令和3年度 事務事業実績報告シート

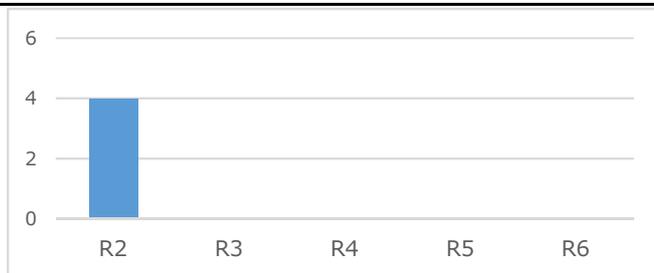
事務事業名	文化振興基本計画策定経費	事業期間	平成 31 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市における文化振興の方向性や具体的な振興策、その進行管理についてまとめる計画 ・有識者、市民等で構成する佐賀市文化振興基本計画策定委員会及び佐賀市文化振興基本計画推進懇話会の開催 ・令和2年3月 第3次佐賀市文化振興基本計画 策定 ・計画期間 令和3年度～令和7年度の5年間 ・経過 平成24年3月 佐賀市文化振興基本計画 策定 平成29年3月 第2次佐賀市文化振興基本計画 策定				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	佐賀市総合計画、文化芸術振興基本法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	435				
うち佐賀市の負担額	435				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
策定委員会開催回数					回
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
4					
活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和2年度に策定した第3次文化振興基本計画の進行状況及び問題点を今後開催する推進懇話会において検証しながら、令和7年度に策定する第4次文化振興基本計画の策定に役立てていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	かわそえ佐賀田園の郷ギャラリー管理運営事業	事業期間	平成 22 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	平成22年10月に佐賀市川副支所庁舎3階を「かわそえ佐賀田園の郷ギャラリー」に整備した。文化連盟川副支部に管理を委託することで、庁舎の空き部屋を有効活用し、地域と芸術とのつながりを深める。また、年数回の企画展を開催し、現在活躍されている画家や芸術家などの作品を紹介するとともに、市民の芸術作品を発表する場を提供する。
事業の対象者	市民
令和2年度主な活動実績	川副町出身画家の常設作品展、市内の画家の企画展、市民の作品の展示等を実施した。

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	620				
うち佐賀市の負担額	620				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
企画展来場者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
4,518	5,000					

成果指標②						単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
27.1	54					

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
支所庁舎という身近なところに気軽に文化芸術に触れられる場所があることへの評価は高いが、川副支所庁舎の建て替えによりギャラリースペースがなくなることから、寄託を受けている作品の取り扱いについて、検討する必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

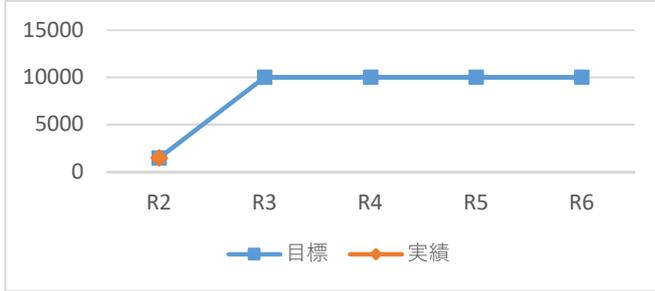
事務事業名	文化連盟補助事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

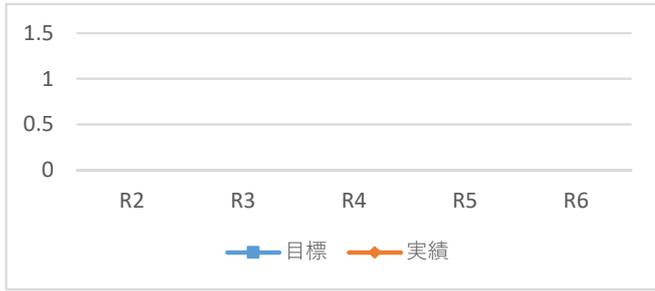
事業概要・目的	合同文化祭や文化講演会等の佐賀市文化連盟の活動を補助することで、市民が芸術文化に接する機会が多くなるように支援をし、市民の生活に癒しや潤いを与える。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	市の文化向上のために、佐賀市文化連盟へ補助を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,183				
うち佐賀市の 負担額	3,183				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来場者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
1,455	10,000	10,000	10,000	10,000	



成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、文化祭等のイベントの中止が相次いだ。市民が芸術文化に触れる機会が途絶えないよう、引き続き文化連盟に対する補助を行っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民芸術祭開催事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	文化会館全館を使用して、佐賀市内で活躍する文化芸術団体によるコンサートや展覧会、ワークショップ等のイベントを開催する。企画及び運営は、芸術関係者と文化施設関係者（佐賀市文化振興財団）、佐賀市の担当者で構成する佐賀市民芸術祭実行委員会が行う。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	第8回（令和2年度11月14日、15日開催） 入場者数 3,112人（来場者数 2,482人、動画配信同時視聴者数 630人） コロナ対策として、主ホールの収容人数を50%に制限し、入場者の事前申込及び動画配信を実施する等の対策を行った。 第5回（平成29年度）：入場者数 13,800人 第6回（平成30年度）：入場者数 12,800人 第7回（平成31年度）：入場者数 12,900人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,949				
うち佐賀市の負担額	11,949				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
入場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,112	4,300	10,000	10,000	10,000		

成果指標②						単位
芸術祭に良い印象を持った入場者の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
89.2	95	95	95	95		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、ホールの収容人数を50%に制限する等を行った結果、例年よりも来場者が少ない結果となった。令和3年度についても引き続き感染対策を行いながらの開催となるため、来場者数の大幅な改善は見込めないと予想される。また、幅広い年齢層や長年参加して下さっている方に楽しんでいただけるよう、ジャンルの多様化や若年層向けの企画などの工夫が求められる。

令和3年度 事務事業実績報告シート

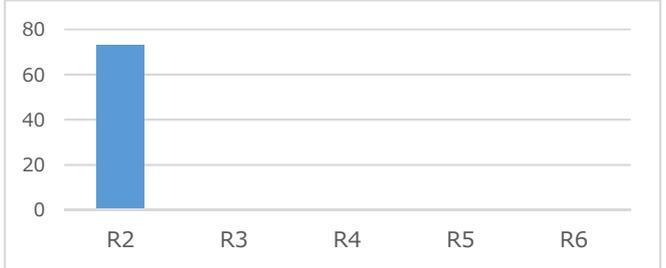
事務事業名	文化芸術活動支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の影響で音楽、舞踊、演劇及び伝統芸能などの文化芸術に関する公演や練習等を中止・自粛せざるを得ない状況にあった佐賀市内在住または佐賀市内に活動の拠点のある文化芸術活動を行う団体または個人が、佐賀市文化会館及び佐賀市立東与賀文化ホール（以下「東与賀文化ホール」という。）で新型コロナウイルス感染症の対策を講じて文化芸術活動を再開、継続するために要する経費に対し、補助金を交付する。				
事業の対象者	佐賀市内在住または佐賀市内に活動の拠点のある文化芸術活動を行う団体または個人				
根拠法令等	文化芸術活動支援補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	20,155				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
補助金を活用し文化芸術活動を継続した団体または個人					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
73					



年度	実績 (件)
R2	73
R3	0
R4	0
R5	0
R6	0

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文化芸術活動を行う個人、団体への支援であり、令和3年9月末までで終了予定である。予算の範囲内で、対象となる個人、団体へ広く周知する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	文化財保存管理事業	事業期間	昭和 41 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市内に所在する指定文化財等の適正な保存・維持・管理を行うことにより、文化財等の活用を図る。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	指定文化財等の適正な保存・維持のための経常的維持管理。 (除草・清掃作業、防災・消防設備点検、警備業務の委託等。)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,885				
うち佐賀市の 負担額	956				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
適切に維持保全された文化財数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
229	231	233	235	237		

成果指標②						単位
不具合・トラブルの件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6	6	6	6	6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

本事業は、指定文化財の適正な保存・維持・管理が主であり、今後も現状の継続的な維持管理を行っていく。一部、文化財の説明板等に老朽化しているものがあり、順次確認や修繕を行っていく必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	指定文化財等保存事業	事業期間	昭和 41 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	①佐賀市所在の指定文化財の適切な保存を図ることを目的に、主として保存修理事業等を行う。佐賀市指定の場合は単独補助、国県指定の場合は継足補助を行う。 ②無形民俗文化財の継承支援のため、保存団体等の実施する無形民俗文化財継承事業に対して補助を行う。(対象団体：13団体)				
事業の対象者	指定文化財所有者、指定無形民俗文化財保存団体				
令和2年度 主な活動実績	①重要文化財管理補助2件、佐賀市文化財保存事業費補助「松枝神社奉納浮立」、「山口家住宅」、「与賀神社楼門」 ②12の指定無形文化財(7件(6団体))に対し補助金を交付「白鬚神社の田楽」、「見島のカセドリ」、「コマツの浮立」、「三重の獅子舞」、「太田の浮立」、「市川の天衝舞浮立」、「東与賀銭太鼓」				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,289				
うち佐賀市の負担額	1,648				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市所在指定文化財数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
229	231	233	235	237		

成果指標②						単位
指定無形民俗文化財継承支援の補助件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
7	12	12	12	12		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
文化財保存事業は文化財所有者による実施が基本原則であり、本市が適切な補助を行うことは条例に定められており、今後も同様の事業展開を基本とする。また、所有者には事前の相談と計画的な補助金の活用をお願いをし、補助事業は予算内の実施になるため、所有者負担の軽減や保存・継承の促進のため、民間助成金制度の利用も促している。特に無形民俗文化財については、コロナ禍の影響もあり継承が困難になってきているため、支援のあり方の見直しが求められている。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	葉隠発祥の地維持管理事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市指定の史跡である「葉隠発祥の地」を良好な状態に保つため、維持管理（清掃、除草等）を地元自治会等に委託して行っている。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	地元自治会等に委託し、除草、雑木の剪定、樹木の消毒、清掃などの管理を行った。 保存管理日数実績（R2）：64日				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,064				
うち佐賀市の負担額	3,064				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設等への苦情件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	0	0	0	0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
史跡の維持管理は、地元自治会等により適切に管理されている。今後は、史跡の活用方法やあり方等についても検討する必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市内遺跡公開活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財一・二係	担当課長名	木島慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	発掘調査で得られた資料を広く市民に公開活用するため、展示解説や体験学習・講演会などを開催する。主に東名遺跡をとりあげ、全国的に見ても大変貴重であるこの遺跡の重要性を市民に知らせ周知化を図る。市内の小中学校で東名出土遺物の展示や出前授業をおこない、教科書にも取り上げられているこの遺跡についての理解を深める。体験学習を通して、縄文時代の生活を体験することで、遺跡についての関心を持たせる。				
事業の対象者	市民				
令和2年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での出前授業 ・東名遺跡出土遺物に関する企画展や体験学習 ・東名遺跡に関連する講演会 ・肥前国庁講座及び企画展 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000				
うち佐賀市の負担額	640				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
イベントへの参加者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
15,090	15,200	15,400	15,600	15,800	

成果指標②					単位
イベントに参加して遺跡の重要性を認識した割合					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
66	68	70	72	75	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
イベントが固定化しつつあり、参加者の裾野を広げるためにも、内容の更新や新たな事業の創出が必要である。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	与賀神社楼門等保存修理事業	事業期間	平成 30 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	宗教法人與賀神社が実施する「重要文化財与賀神社楼門・三の鳥居および石橋保存修理事業」に対して補助をし、適正な保存・維持・管理を図る。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	文化財保護法、佐賀県文化財保護条例、佐賀市文化財保護条例				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	4,385				
うち佐賀市の負担額	4,385				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
保存・活用された資源の数					件	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
3						
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

平成30年度から3ヶ年で老朽化した文化財の修復及び耐震補強への補助を行い、令和2年度に完了した。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	肥前国庁跡保存管理事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財二係	担当課長名	木島 慎治	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	28未来につながる文化の振興		
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	肥前国庁は奈良～平安時代にかけての約200年間この地に存在し、肥前国（佐賀・長崎）を統括した役所の跡で、国の史跡に指定されている。南門跡の復元や、ガイダンス施設が整備され、施設の管理するとともに、歴史教育や生涯学習の場として企画展・講座・芸能祭等を実施し活用を図っている。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	肥前国庁歴史公園及び肥前国庁跡史料館の適正な管理のための経常的維持管理。（資料館の運営管理、公園内の除草、資料館の清掃作業・防災・消防設備点検・警備業務の委託等） 南門をライトアップした芸能祭の実施。 資料館での企画展・講座等を実施。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,735				
うち佐賀市の負担額	4,438				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
肥前国庁跡史料館入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,863	2,500	3,000	3,500	3,500		

成果指標②						単位
肥前国庁跡史料館子どもの入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
109	150	200	250	300		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
肥前国庁跡の適正な保存・維持・管理を行っていくとともに、肥前国庁のことを市民に周知いただき、一層の活用を図る必要がある。入館者増を図るため、幅広い年齢層に来館いただけるようなイベント等の新たな取り組みを検討したい。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東名遺跡保存管理事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財一係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国史跡である東名遺跡の適切な保存管理及び活用を図る。				
事業の対象者	市民、東名縄文館の利用者				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保存環境を監視するモニタリング調査の実施 ・史跡地の除草管理及び東名縄文館の運営 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,952				
うち佐賀市の負担額	3,703				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
東名縄文館の入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,500	1,600	1,800	2,000	2,200		

成果指標②						単位
モニタリング調査における現地観測回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
12	6	6	6	6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

東名遺跡を恒久的に保存・継承していくため、適切な維持管理を継続していく必要がある。
現在進めている史跡整備事業を視野に入れ、東名縄文館と史跡地を連携させた活用方法を検討していく必要がある。

令和3年度 公共事業進捗報告シート

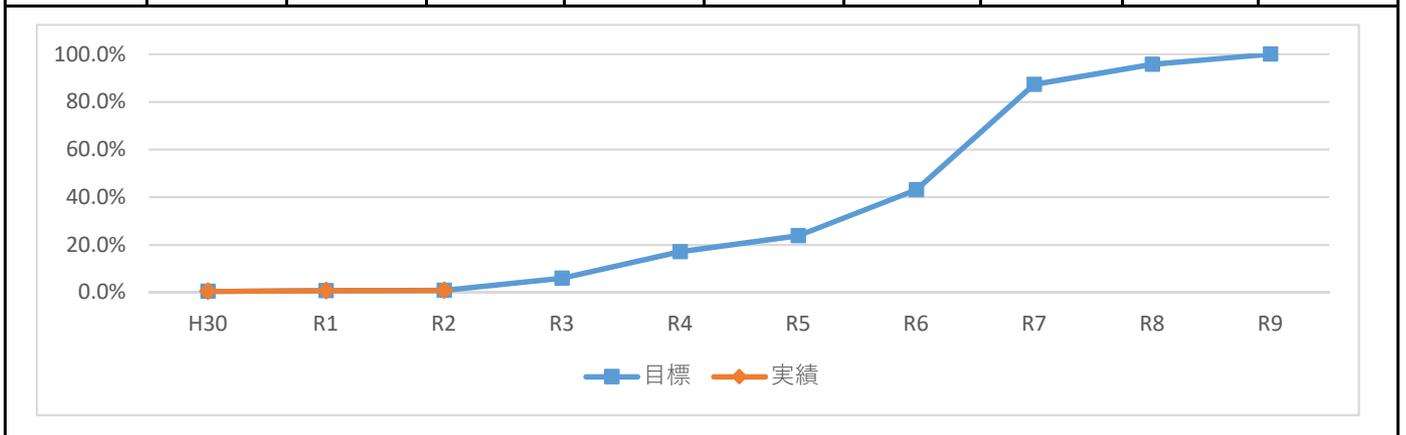
公共事業名	東名遺跡史跡整備事業	事業期間	平成 30 ~ 令和 9 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財一係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 公共事業の基本情報

整備概要	東名遺跡ガイダンス施設の設置及び現地整備を行う。				
整備の目的	史跡東名遺跡の適切な保存・活用を図るため。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	H30年度	R1年度	R2年度	年度	年度
工事請負費					
測量・監理等委託料	5,054	3,355	1,458		
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	446	731			
計	5,500	4,086	1,458		
うち佐賀市の負担	1,760	1,960	1,458		
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					9,867
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					1,177
計					11,044
うち佐賀市の負担					5,178

2 事業の進捗率

H30	目標 実績	R1	目標 実績	R2	目標 実績	R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	R7	目標 実績	R8	目標 実績	R9	目標 実績
	0.5% 0.5%	0.8% 0.8%	1.0% 0.9%	6.0%	17.2%	23.9%	43.1%	87.3%	95.8%	100.0%									



令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域文化保存・継承支援事業	事業期間	平成 21 ~	年度
担当部署・係名	文化振興課 文化振興係	担当課長名	木島 慎治	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	28未来につなげる文化の振興		
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市固有の生活文化や歴史・文化などを次世代に引き継ぐため、次の対象事業①②に対し、補助金を交付する。補助金の交付にあたっては、申請案件を地域文化支援審査会に諮り、決定する。 ①地域資源の保存又は継承につながる自主的な事業（経費の2/3以内で上限30万円の補助） ②地域の伝統芸能等に係る用具の修繕、購入、復元等を行う事業（経費の1/3以内で上限30万円の補助）				
事業の対象者	地域住民で組織された団体や佐賀市に拠点がある市民活動団体				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上戸田自治会（松森神社本殿の改修事業） ・蓮池まちづくり協議会（蓮池史跡案内板設置事業） ・北川副まちづくり協議会（戦中・終戦直後の暮らしの伝承及び語り部の育成事業） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,261				
うち佐賀市の負担額	829				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
保存・活用された資源の数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	4	4	4	4		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
近年、地域文化の保存・継承する担い手が減ってきている。これまでの実績については、近年、地域の伝統芸能等に係る用具の修繕、購入、復元等を行う事業の申請が減少している。事業が実施される地域については、富士や三瀬からの申請が少ないといった傾向があるため、様々な団体に事業を活用してもらえようとして広報活動を行っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）	事業期間	平成 元 ～ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財二係	担当課長名	木島慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	開発行為前に埋蔵文化財の有無・内容を確認する予備調査、破壊が避けられない場合は発掘調査を実施。個人住宅や個人経営の店舗建設等過度の負担をお願いできないものは、本事業により発掘調査を実施する。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡の保存措置について開発側と協議をおこない、できる限り現状保存を行った。 ・発掘調査の報告書を作成 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	24,154				
うち佐賀市の負担額	3,889				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
確認調査件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
154	160	160	160	160		

成果指標②						単位
本調査件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6	10	10	10	10		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
最も多い調査は個人住宅の建設に係るものが多く、申請者と建設会社にご理解をいただいた上、入居時期等に影響がないスケジュール調整に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	出土遺物保存処理事業	事業期間	平成 9 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財一係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	発掘調査によって得られた遺物のうち、木製品や金属製品等は脆弱で通常の保管方法では劣化が進行してしまうため、専門機関に保存処理を委託する。平成21年度以降は、東名遺跡で出土した木製品や編みかごの保存処理を実施している。				
事業の対象者	市民、木製品等の脆弱遺物				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査で出土した重要遺物に保存処置を施し、その恒久的保存を図った。 東名遺跡出土木製品等（21点）の保存処理を行った。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,400				
うち佐賀市の負担額	2,368				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
保存処理の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
96	98	100				

成果指標②						単位
保存処理遺物の展示点数						点
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27	30	35				

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
保存処理済遺物の保管環境については良好とは言えないため、適正な施設の整備を急ぎたい。企画展等で積極的な展示公開を図る必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東名遺跡（国庫）分経費	事業期間	平成 21 ～ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財一係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東名遺跡の総合的な価値づけを行うため、出土遺物の整理や各種分析調査を実施し、その成果を掲載した報告書を作成する。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・東名遺跡出土遺物の整理作業 ・研究機関への委託による植物性遺物及び動物性遺物の調査 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,970				
うち佐賀市の負担額	1,270				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
報告書作成（整理作業）の進捗状況						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
70	75	80	90	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等
遺跡の持つ本質的価値を明らかにするため、様々な分野での調査研究を進めると同時に、その成果を迅速に公開し活用する必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	世界遺産関連分経費（国庫補助事業）	事業期間	平成 21 ～ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財一係	担当課長名	木島慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである史跡三重津海軍所跡の整備活用に向けた調査研究の蓄積及び幕末佐賀藩産業遺跡の調査を進める。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	史跡三重津海軍所跡の整理調査を実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,180				
うち佐賀市の負担額	5,498				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
遺物整理コンテナ数						箱
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
90	90	90	90			

成果指標②						単位
報告書作成進捗						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	35	50	80	100		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
今後の整備や活用等に向けて、遺跡の価値付けの調査を計画的に継続する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	鍋島本村地区発掘調査事業	事業期間	平成 29 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財二係	担当課長名	木島慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農業基盤整備事業（鍋島本村地区）により、遺跡の現状保存が困難な部分について本発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図る。 (令和元年度：現地調査 令和2年度：報告書作成)				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	鍋島本村地区の調査結果について、報告書を作成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,840				
うち佐賀市の負担額	12				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
報告書					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
100					

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
埋蔵文化財の調査による新たな史実の発見及びその成果の公開により、市民の歴史学習に寄与していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	一本黒木遺跡発掘調査事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財二係	担当課長名	木島慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	高木瀬地区圃場整備事業に伴い破壊される一本黒木遺跡の発掘調査を行う。 (R2年度：現地調査 R3年度：報告書作成)				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	一本黒木遺跡の現地調査を行った。 国庫分：45㎡ 県委託分：315㎡				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,840				
うち佐賀市の 負担額	12				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
調査面積						㎡
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
360						

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
圃場整備事業に伴い破壊された遺跡の調査成果を正確に伝える内容の報告書を作成し、調査の充実を図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久保泉工業団地建設に伴う発掘調査事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財一係	担当課長名	木島 慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	報告書未刊となっている調査区について、整理調査及び報告書作成を行い、久保泉工業団地関係発掘調査を完了させる。発掘調査を実施した遺跡についての基本となる資料を公表することにより、それが今後の調査・研究の一助となり、その成果等により、一般市民の歴史、文化及び文化財保護についての理解の深化が図られる。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	整理調査及び報告書作成				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,757				
うち佐賀市の 負担額	1,753				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
整理作業（実測・補助・製図等）進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
53	70	78	82	90		

成果指標②						単位
報告書作成進捗						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	57	62	68	75		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
事業完了に向けて計画的に作業を進める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	世界遺産関連分経費	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財一係	担当課長名	木島慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	『明治日本の産業革命遺産』の構成資産の一つである史跡三重津海軍所跡の整備活用及び幕末佐賀藩産業遺産関連の文献調査。 史跡三重津海軍所跡の管理				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市重要産業遺産関係調査報告書刊行 ・史跡三重津海軍所跡除草 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,889				
うち佐賀市の負担額	7,889				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
文献調査報告書頁数						頁
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	35	50	80	100		

成果指標②						単位
除草範囲面積						m ²
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
13,893	13,893	13,893	13,893	13,893		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
今後の整備や活用等に向けて、遺跡の価値付けの調査を計画的に継続する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	精煉方跡発掘調査経費	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財一・二係	担当課長名	木島慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幕末佐賀藩産業遺産の一つである精煉方跡について、遺跡の性格を解明するための発掘調査及び文献調査を進める。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	発掘調査及び出土遺物等の整理				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,954				
うち佐賀市の 負担額	2,954				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
調査面積						m ²
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	40	40	40	20		

成果指標②						単位
調査の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	-	17	34	52		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
今後の整備や活用等に向けての具体的な調査計画の策定。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	七ヶ瀬遺跡発掘調査	事業期間	令和 元 ~ 5 年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財二係	担当課長名	木島慎治
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀コロニー跡地県営産業用地造成事業に係る埋蔵文化財調査 R1～R3年度：現地調査（※当初の計画から現地保存に事業変更のため、発掘調査はR3まで） R4～R5年度：報告書作成				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	七ヶ瀬遺跡の現地発掘調査を実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,800				
うち佐賀市の 負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
調査面積						m ²
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,000	3,000	100				

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和5年度の報告書の刊行に向けて計画をたてて、事業を進めたい。

令和3年度 事務事業実績報告シート

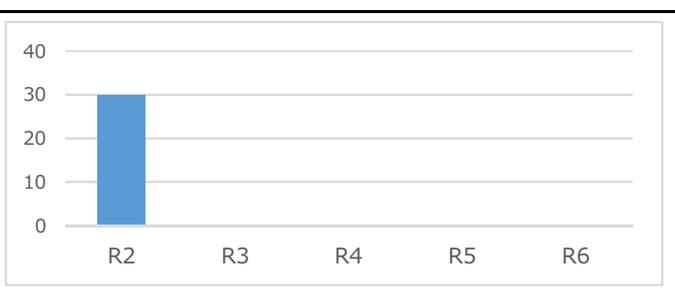
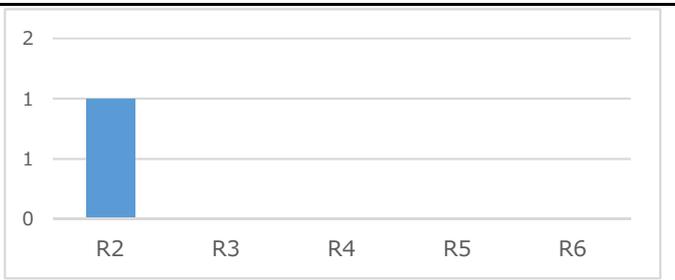
事務事業名	緊急発掘調査分経費	事業期間	平成 元 ~	年度
担当部署・係名	文化振興課 文化財二係	担当課長名	木島 慎治	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	28未来につなげる文化の振興		
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	緊急的に発生した民間開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査及び報告書作成。 緊急的な発掘調査を迅速且つ滞りなく実施する。 また、記録保存として発掘調査報告書を作成・刊行し、調査成果を公開する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	文化財保護法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	498				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
民間開発に伴う発掘調査					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
1					
活動実績②					単位
調査面積					m ²
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
30					



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

民間開発業者の計画を事前に把握し、スケジュール調整を測りながら事業を進めたい。
